ふれあい広場

笑顔あふれる豆まき

2月3日の節分の日、元気よく豆まきをした保育園のチビっ子たち。鬼を追い出し風邪にも負けません。外はまだ寒いけれど春はもうすぐそこです。

サークル掲示板

●土と炎の作品展を

社会福祉法人進和学園では、自分たちが制作した陶芸の作品展を開く。純心な心を形に表したものばかりで、多くのみなさんにご覧いただきたい。

▽日程　2月15日（水）～19日（日）
▽時間　午前9時30分（15日は午後1時）～午後4時30分（19日は午後3時）
▽会場　平塚市美術館アートギャラリー、1階B室
▽問い合わせ先　同学園（電話32－五三二五）

●親子でリトミック

リトミックサークルでは、リズム遊びなどを通じて親子遊びをする仲間を募集している。二歳以上のお子さんがいる方は、親子でご参加いただきたい。

▽日時　毎週金曜日、午前9時30分～11時30分
▽場所　青少年会館
▽問い合わせ先　同会の奥野町子（電話58－一四三〇）

●五日制を考える

教育を守る会平塚支部では、学校週五日制について考えようとパネルディスカッションを開催する。先生と父母の方々とが幅広い話し合いをしようとするもので、多くの方のご参加をお待ちしている。

▽日時　2月18日（土）午後1時30分～4時
▽会場　青少年会館
▽問い合わせ先　同支部長の徳野恵子（電話33－九三五三）

●大空にチャレンジ

湘南パラグライダークラブでは、会員を募集している。上昇気流に乗って大空を飛んでみよう。毎週日曜日に伊豆、箱根方面で活動をしている。

▽問い合わせ先　同会の青木功一（電話36－九一八〇）へ。

●女性コーラスに

まどかコーラスでは、会員を募集している。練習日には保育室の用意もあるので、若いお母さん方も安心してどうぞ。

▽練習日時　毎週金曜日、午前9時30分～12時
▽場所　青少年会館
▽会費　月四千円
▽問い合わせ先　同会の粉川房子（電話33－七三七六）

●子ども会劇場開く

平塚市子ども会育成連絡協議会では、すわらじ劇園よい子の劇場の観賞会を開く。親子おそろいでお出掛けを。午前と午後の二回あるのでお間違いのないようにどうぞ。

▽期日　2月26日（日）
▽開演時間
・午前の部　午前10時30分
・午後の部　午後1時30分
▽会場　市民センター
▽入場料　八百円（4歳以上）、全自由席
▽演目　アラジンと魔法のランプ
▽問い合わせ先　同会の榎本義明（電話32－三五一二）

●熟年の絵仲間に

百彩会では、六十歳以上の方の会員を募集している。月一回福祉会館に集まり絵を描いているサークルで、油絵や水彩画など絵の好きな方ならどうぞ会員に。

▽問い合わせ先　同会の須合もと（電話32－三六六九）へ。

●ともだち展開く

市内や近隣市町の学校・施設などで、心身障害のある方々が日常頑張っている姿を皆さんに知っていただこうと「みんなともだち展」を開く。

作品や写真などの展示のほか、土曜、日曜日には一部即売を予定している。ぜひお出掛けのうえ、ご覧いただきたい。

▽日程　2月16日（木）～21日（火）
▽時間　午前10時～午後6時　ただし、21日（火）のみ午後2時まで
▽会場　梅屋デパート平塚店本館7階ユーホール
▽問い合わせ先　秦野精華園の高野（電話77－八八一一）

◎サークル掲示板

サークルや団体の掲示板として利用していただくみなさんのページ。会員募集やイベント案内などにどうぞご利用を。

・送り先　〒254平塚市浅間町9－1　平塚市広報広聴課「サークル掲示板」係

お譲りします

◇**譲ります**　①**有料**　おもちゃ、おまる、マタニティジャンパースカート、赤ちゃん用外とう着、五月人形、女学生レインコート、赤ランドセル、ベビーバス、回転式フロアチェア、長いす、リビングテーブル、食卓、座敷テーブル、ダブルベッド、電気ファンストーブ、照明器具、温風ヒーター、ウォークマン、白黒テレビ、カラオケセット、ポケットワープロ、大型テレビ、ガスストーブ、ガスファンヒーター、大正琴、剣道防具一式、蝶の額入り標本、子供百科事典、カセットコンロ、ルームウォーカー、美術図鑑、マウンテンバイク　②**無料**　歩行器、オルゴール、双子用ベビーカー、自転車、ベビー布団、リクライニングチェア、一輪車、ポータブルテレビ、ラジオ、こたつ、炊飯ジャー、スキーキャリア、鳥かご、オルガン、電動肩もみ機

◇**譲ってください**　ベビーフェンス、男子子供服、スキーウェア、スキーセット、おぶいひも、げた箱、学習机、レンジ台、食器棚、コンピュータラック、シングルベッド、自動パン焼き器、掃除機、ふろおけ、ワープロ、子供用英会話セット、エレクトーン、電子ピアノ、空手着、柔道着、エレキギター、車いす、折りたたみ布団干し、火ばち、ミシン、ぶらんこ、B型ベビーカー、滑り台

◎不用品登録情報は、地域づくり課市民生活係（内線二六三）へ。

私のたからもの ▶11◀

旅の御朱印帳

鈴木一枝さん（四之宮）

旅に出て、行った先々の名物もさることながら「食べてしまえばそれまで」の物より、いつまでも記念になった御朱印帳が私の大切な宝物である。

主なところでは、日光東照宮、大阪天満宮、身延山久遠寺、讃岐金刀比羅宮などで、山名、寺名、日付、朱印が丁寧に押されている。そのページをめくれば、名所史跡もさることながら、地方色豊かな産物、雪をかぶった絶景や雪像、特色あるお祭りなどが彷彿とよみがえる。春は花、秋は紅葉に英気を養い心満たされた日々や、友や姉妹との語らい、寺社の深奥なたたずまいに思いを巡らせば、また旅情をかき立てられる。

いつか旅に出掛けることが困難になったとき、この御朱印帳は私の更なる宝物になるに違いない。

◇

みなさんが大切にしている品物を紹介するコーナー。紹介文を二百字程度にまとめてお送りください。

▽送り先　〒254平塚市浅間町9－1　平塚市広報広聴課「私のたからもの」係

なり、何より年若くして逝去した主人の冥福を祈るためにと始めた御朱印集め。三十年におよび二冊になっ

教育相談

お母さんのまなざし

あるお母さんから聞いた話です。

「今まで駄々をこねたことがない息子が、一度だけ路上で動かなくなったことがありました。息子はしきりにタクシーで帰りたがりましたが、結局歩くことにしました。今にして思えば、息子は疲れていたのでしょう。家の近くまで来た時、今度はおもちゃが欲しい、と立ち止まってしまいました。家に着くと、買ってもらったばかりのおもちゃを窓から庭に投げ捨てました。

買い物をすませるのに便利だったので、タクシーに乗らず歩いたのです。ちょうど、夫の母が田舎から出て来ていて、あれもこれもしなければと頭がいっぱいだったのです」

この子が本当に欲しかったのは何だったのでしょうか。それは、お母さん自身だったようです。子供と一緒に歩いていても、母親の気持は別の事でいっぱいでした。おもちゃは埋め合わせにならず、埋まらない穴は、駄々っ子を果てしなくどん欲にさせました。

子供は母親の関心がどこに向いているかにとても敏感です。その敏感さはまるでテレパシーのようです。なぜなら子供にとって母親のまなざしは、酸素のようにそれなしでは生きていけないものだからです。

子供が生きていくためには、自分自身を愛せることが必要です。お母さんお父さんのまなざし、すなわち愛情の中で自分を愛していくのです。

☆子ども教育相談センター
崇善小学校北側　電話36－六〇一二

実業団対抗駅伝競走大会の募集

第34回実業団対抗駅伝競走大会の出場チームを募集している。ぜひ出場を

◇期日　3月19日（日）
8時30分スタート

・第1区　平塚競技場―城島小学校　6.6km
・第2区　城島小学校―大住中学校　7.4km
・第3区　大住中学校―みずほ小学校5.0km
・第4区　みずほ小学校―吉沢小学校7.0km
・第5区　吉沢小学校―山城中学校　5.9km

◇**資格**　市内の会社、事業所で編成するチーム。10月1日から引き続き勤務している人。

◇**編成**　監督1、選手5、補欠2

●**申し込み**　3月7日（火）午後5時までに体育課（平塚球場内）へ。電話31―3060

ジュニアリーダー受講生の募集

地域の青少年活動をより活発にするため、中学生を対象に、指導者として必要な知識や技術を身につけたジュニアリーダーを養成するため、講習会を開く。期間は3月から12月まで。

・**対象**　中学生（講習会終了後もリーダーとして活躍できる人）
・**募集**　80人
・**講習会の内容**　3月25日～26日宿泊研修、4月22日ハイキング、5月28日レクゲーム、7月2日デイキャンプ、8月9日～11日キャンプ、9月24日人形劇、11月5日プログラム作り、12月17日修了式
●**応募方法**　所定の申込書に必要事項を記入し、青少年課育成係（青少年会館内電話32－7029）へ。

お兄さん、お姉さんに！

ヘルシーライフ ●HEALTHY● ●LIFE●

◎保健センター　平塚市中里34―17　電話34―0311
◎平塚保健所　平塚市豊原町6―21　電話32―0130

母親父親教室

3月の日程
■前期（妊娠6か月までの方）
6日　午後1時30分～4時
お母さんと赤ちゃんの歯の衛生、妊婦体操
13日　午前10時30分～午後2時
妊婦中と産後の栄養
17日　午後1時30分～4時
赤ちゃんの育て方、抱き方
■後期（妊娠8か月以降の方）
20日　午後1時30分～4時
お産の進み方と産後の過ごし方、呼吸法
24日　午後1時30分～4時
赤ちゃんのおふろ
■会場　保健センター
■母子手帳、筆記用具、歯ブラシとコップと牛乳パック（6日）、スラックス（6日と20日）、手ふきタオル（13日と24日）、エプロンと三角布（13日）を持参

虫歯予防教室

■対象　3月中に8か月から1歳になる乳幼児のお母さん
■日時　3月8日　午前10時～11時
■会場　平塚保健所
■母子手帳、筆記用具を持参

乳幼児健康診査

■受付　午後1時～2時
■会場　保健センター
■母子手帳、筆記用具、歯ブラシ（1歳6か月児のみ）を持参
【3月の3か月児】
・1日　6年11月1日～10日
・15日　6年11月11日～20日
・22日　6年11月21日～30日
【3月の1歳6か月児】
・7日　5年9月1日～10日
・14日　5年9月11日～20日
・28日　5年9月21日～30日
【3月の3歳児】
・2日　4年1月1日～10日
・16日　4年1月11日～20日
・23日　4年1月21日～31日
■3歳児は、尿検査と歯科検診も実施

乳幼児歯科相談

■対象　2歳6か月までの乳幼児
■会場　平塚保健所
■相談日　3月6日、20日
■時間　午前9時～10時
■申し込み　電話で平塚保健所へ。

お誕生前健康診査

生後10か月から1歳未満の乳幼児が受ける健康診査。
母子手帳を持参のうえ指定の医療機関で受診を。

育児相談

■対象　乳幼児
■相談日　毎週水曜日
■時間　午前9時30分～10時30分
■会場　保健センター
■内容　体重測定、栄養、病気、育て方、予防接種のことなど
■母子手帳を持参

赤ちゃんのステージ

中谷槙夏（なかやまきか）ちゃん

☆平塚市纒669-6デイリーハイツ202　豊栄運輸にお勤めの中谷真一さん（29歳）と夏佳さん（26歳）の長女。平成6年6月29日生まれ。身長71.5cm、体重7.9kg。
いたずら好きの槙夏ちゃんはお母さんが目を離すとすぐになんでも口に入れてしまう。口の中からスーパーのチラシがみつかったこともある。仕事でいつも遅いお父さんは、たまに早く帰ってくるとかわいくてしょうがない様子。今から「この子は嫁にやらない」と言っている。将来は人の気持ちがよく分かる子にとお母さん。

募集
はがきに赤ちゃんの氏名、性別、生年月日と両親の住所、氏名、年齢、電話番号、会社名を記入のうえご応募ください。対象は1歳未満の赤ちゃんです。応募されたはがき（1日掲載分は26日～10日締め切り、15日掲載分は11日～25日締め切り）は、抽選により広報紙に掲載します。今回は14人応募。
☆送り先　〒254平塚市浅間町9―1
平塚市広報広聴課「赤ちゃんのステージ」係

予防接種●3月カレンダー

赤ちゃんの健康メモ

健康診査

老人性痴呆疾患相談を開く

保健所では、お年寄りの物忘れ等、痴呆（ちほう）（いわゆるボケ）に悩んでいる方々を対象に、相談をお受けする。
▽日時　2月22日（水）午後1時30分～3時30分
▽会場　平塚保健所
▽申込先　平塚保健所（電話32―〇一三〇）予約制

健康講座開く

済生会平塚病院では、肝臓病に関する正しい知識を身に付けてもらおうと講座を開催する。肝臓の大切さを知り、日ごろの食事や飲酒をもう一度振り返ってみてはいかが。参加無料
▽日程　2月21日（火）
▽時間　午後2時～3時30分
▽会場　済生会平塚病院5階会議室
▽問い合わせ先　同病院医事課の大下（電話31―〇五二〇）

もしもし健康相談ご利用を

病気、介護、育児など、健康に関する心配事を、どこに相談したらよいのかわからない…。
市では、こうした悩みに電話でお答えする「もしもし健康相談」を開設している。お気軽にご利用を。
▽相談日　毎週月、木曜日
▽時間　午前10時～午後4時
▽相談電話　34―一二二一

歯ぐきの検診

歯の健康は歯ぐきからといわれている。普段何げなくやっている歯磨きをもう一度チェックし、あわせて歯ぐきの検診も行う。この機会にぜひ受診を。
▽日時　2月28日（火）
・妊婦の方　午前9時～10時30分
・妊婦以外の50歳未満の方　午後1時～2時30分
▽会場　平塚保健所
▽持ち物　母子手帳（妊婦の方）、普段使っている歯ブラシ、コップ
▽申込先　平塚保健所（電話32―〇一三〇（予約制）

心の健康相談

▽日程　2月28日（火）3月1日（水）、10日（金）
▽時間　午後1時30分～3時30分
▽会場　平塚保健所
▽対象　心の悩み、ノイローゼ、アルコール等の悩みを持つ本人またはその家族
▽担当者　精神科医師、ケースワーカー（訪問も可）
▽申込先　平塚保健所（電話32―〇一三〇（予約制）

四月から一部会場の変更が

保健センターでは、四月から施設の一部改修を行うことになった。これに伴い同センターを会場にした健康診査などが、平成七年度に限り他に変更となるのでお間違いのないように。
休日夜間急患診療所は、従来通り開設しているが、駐車場が狭くなっているのでご注意を。
▽変更期間　平成7年4月～平成8年3月
▽平塚保健所に会場を変更するもの
・乳幼児健康診査
▽地区公民館等で実施するもの
・日本脳炎予防接種
・小児マヒ生ワクチン投与
・がん集団検診
▽問い合わせ先　健康課（内線二五九）

育児なんでも百科

排せつのしつけ

おむつが取れるには個人差があり脳の発達に応じたトレーニングが必要である。
子供の多くは一歳過ぎころからおむつのぬれたことを表情や身振りで教えてくれる。そしたらタイミングよく交換し、快いという感覚を感じさせてあげる。トレーニングは、一回の排尿量が多くなり、しかも二～三時間の間隔となってから始める。しかも、言葉で意志が通じるようになる一歳半から二歳ころからの方がマスターしやすい。あまり早く始めると親のあせりから余計な緊張が生まれ、結果的に良くないことになる。
トレーニングは、「快」の感覚の中ですることが大切である。
ころあいを見計らい便器やおまるに座らせてみるが強制はしないこと。うまくできたらいっぱいほめてあげよう。失敗してもしかられず、励ましの言葉をかけてあげたい。二回に一回程度トイレを教えるようになったらパンツにしてみる。うんちも同じであるが、おしっこよりスムースである。
とにかくイライラは禁物で、根気強く、あせらず、ゆっくりをモットーにしつけに臨んで欲しい。（健康課）

住所が変わったら異動の届け出を

住民異動届は、選挙、就学、国民年金、国民健康保険、予防接種、印鑑証明などのもとになる重要なものです。住所が変わったときは、必ず14日以内に届け出をしてください。
届け出には、その方の氏名、住所、異動した年月日、従前の住所等がわかるようにし、本人または世帯主等が届け出ることになっています。うその届け出をしたり、正当の理由がなく届け出をおこたった場合は、過料が科せられる場合があります。
・担当　市民課市民異動係（内線236）

平塚市春の花き展を開催

市内で生産されている施設の花きを展示することにより、市民に花き生産の実態を認識してもらい、さらに生産者の技術向上に役立たせる
とき　2月16日（木）～21日（火）
会場　ひらつか市民プラザ
【内容】
・切り花、鉢花の展示
・切り花、鉢花等の即売
・花に関する相談

※問い合わせ　農産課営農指導係（内線543）

広報手帳

◆初級の手話講座を

▽日程　3月3日（金）～31日（金）の毎週月・金曜日（10日は除く）全8回
・時間　午前10時～12時
▽会場　福祉会館
▽定員　30人（先着順）
▽申込先　障害福祉課障害福祉係（内線二二一）

◆競輪場の売店募集

公営事業所では、平塚競輪場内の売店に出店を希望する方の申し込みを受け付ける。ただし、二回連続出店した方は申し込めない。
▽出店期間　平成7年4月～9月
▽募集店舗　特観席附属食堂2店舗、飲食売店9店舗、普通売店4店舗（抽選）
▽応募資格　①市内に1年以上お住まいで、住民登録または外国人登録がされていること　②飲食売店は調理師、ふぐ包丁師等免許証、食品衛生責任者講習終了証書、普通売店は製菓衛生師等免許証、食品衛生責任者講習終了証書のいずれかの資格所有者がいること　③希望する売店と同じ業務を市内で1年以上営業していること　④市税など市の徴収金に滞納のないこと
▽持参する物　①住民票または外国人登録済証明書　②市税完納証明（法人は法人分およびその代表者分の2部）③印鑑　④営業許可書　⑤応募資格②の各証書　⑥法人は定款および登録簿謄本
▽受付期間　2月23日（木）～24日（金）
・時間　午後2時～4時
▽受付場所　平塚競輪場内事業課
問い合わせは、事業課（電話21―三九三五）へ。

◆計量器の事前調査

市では、商品売買、薬剤、身体検査などに使う計量器の事前調査を三月中旬に実施するが、その調査員を募集する。
▽日程　3月13日（月）～17日（金）
・勤務時間　午前9時～午後4時30分
▽日給　五千百四十五円
▽募集人員　3人（18歳以上60歳未満、高校生は除く）
応募先および問い合わせは商業観光課商業係（内線五六二）へ。

◆簿記講座を開く

平塚商工会議所では、初級簿記講座を開く。
▽日程　4月3日（月）～6月9日（金）全26回
・時間　午後6時～8時
▽会場　平塚商工会議所2階会議室
▽受講料　一万八千円
▽申込期間　3月1日（水）～17日（金）
申し込みおよび問い合わせは、平塚商工会議所（電話22―二五一〇）へ。

◆青少年の集い開く

県立湘南青少年の家では、「遊びにおいでよ湘南へ」をテーマに青少年ふれあいの集いを開く。
▽日程　3月25日（土）～26日（日）1泊2日
▽会場　県立湘南青少年の家
▽対象・定員　中学生以上の青少年35人
申し込みは、同所（電話61―〇六七六）へ。

◆園芸教室を開く

県湘南園芸相談コーナーでは、園芸教室を開く。
▽日時　3月10日（金）午前9時30分～11時30分
▽会場　県農業会館（駅南口）
▽講師　園芸研究家　向後三春氏
▽内容　春夏野菜の作り方
問い合わせは、県湘南園芸相談コーナー（電話23―〇五九三）へ。

◆新たな給付制度が

平成七年四月一日から雇用保険による、高年齢雇用継続給付制度と育児休業給付制度が開始される。事業主の方は支給の対象となる雇用保険の被保険者の方がいる場合、事業所の所在地を管轄する公共職業安定所に届出が必要となるのでご注意を。
詳しい問い合わせは、平塚公共職業安定所（電話24―八六〇九）へ。

◆駐車対策に協力を

駅やデパート、商店などの周辺に集中する自動車により交通渋滞や交通事故が増加している。
これらの状況を少しでも改善し、安全で快適な街づくりを進めるため、中心市街地へのお出掛けはバスなどの公共交通機関を積極的に利用していただきたい。また、自動車を利用するときは路上駐車せず、駐車場を利用するよう心掛けを。
問い合わせは、都市計画課（内線四二八）へ。

樹木を斡旋（あっせん）している。希望される方は、みどり公園課みどり推進係（内線五九一）へ。
▽お譲りする樹木　・いぬつげ（樹高1・7メートル　1本）

●文化振興基金
文化振興基金は、芸術文化事業の実施や市民の創造的な文化活動に対する助成などに使われる。ご協力を。
問い合わせは、文化行政推進室文化振興係（内線六七三）へ。
（敬称略）
・山口宣秀　一万円、平塚日本舞踊連盟　三万円、平塚市ビルメンテナンス業協同組合　十万円

●スポーツ振興基金
スポーツ振興基金は、スポーツに関する講習会、スポーツ団体に対する助成などに使われる。ご協力を。
問い合わせは、スポーツ振興財団（平塚球場内・電話35―〇一〇二）へ。（敬称略）
・平塚市ビルメンテナンス業協同組合　十万円

●みどり基金
みどり基金は、緑化団体の助成などに使われる。ご協力を。
問い合わせは、みどり公園課みどり推進係（内線四二五）へ。

あたたかい心

社会福祉基金は、地域福祉のボランティア助成などに使われる。
問い合わせは、社会福祉協議会（電話33―二三三三）へ。
（敬称略）
▽社会福祉基金へ　・本門仏立宗上行寺　五万円、高梨功一　一万円、メーキングII　三千三百円、花水地区老人クラブさくら会　六千六百三十七円、チャリティもちつき大会実行委員会　三十万四千五百六十五円、田代四海子　二万円、松本鉄実　六千八十五円、十二人会　一千円、花水梧葉会　五千円、平木敏勝　一万円、和田利彦　二万二千二十五円、和田ムメ子　五万円、神奈川歌謡連盟及び歌謡教室シンガー生徒一同　十六万八千四百三十二円、平塚YWCA　一万円、トータルレディス　二十一万一千八百一円、農業総合研究所収穫祭実行委員会　九万三千二百五円、中部なでしこ会　三千二百三十八円、熊澤武司　三万円、鈴木内科外科医院　三千九百二十四円、平塚市ゴルフ協会　十万円、関東冶金工業四千九百八十八円、沼田光憲・憲次　三千円、横浜エイロクイップHG募金会社へ。
・城島公民館窓口　一千五百二十六円、豊田公民館窓口　一千二百六十円、旭北公民館窓口　八百十三円、松原公民館窓口　二千八百四十七円、金目公民館窓口　二百六十円、岡崎公民館窓口　五千百九十三円、金田公民館窓口　四百二十七円、吉沢公民館窓口　二千八百五十五円、中央公民館窓口　一千六百二十一円、花水公民館窓口　四分　四万七千円、横浜エイロクイップHG募金箱分　八万七千八百二十円、五領ケ台高校生徒会　六万九千五百二十二円、共和技術コンサルタンツ　五万五千二十一円、中原中学校区青少年健全育成推進連絡協議会　一万一千四百円、誠進製作所　一万五千百円、ホーマーコーポレーション平塚工場　三万七千六百五十八円、山田一男　五千八百四十六円、星野剛造　四千円、久保正身　四千円、小泉史江　一万二千円、山口昇　四千円、平塚美術協会　七万円、松が丘小学校PTA　一万一千四十円、成田昇　一万円、平塚地区労働組合協議会　十万円、平塚競輪場第一払戻し所　九千七十二円、神田ふれあいまつり実行委員会　三万九百円、匿名　一万八千円
▽児童福祉へ　・匿名　二千円
▽社会福祉へ　・磯崎輝夫　四千円
▽交通遺児へ　・泉栄一　一千円、平塚バプテスト教会　一万円、イフコレンタカー　二万一千七百一円、頼朝隆　五千円
▽心身障害者へ　・野井正紀、十万円

声のひろば

大震災の救援活動は

市職員の派遣や自転車、1,430万円の義援金など

現地で活動する建築物危険度判定士

質問　兵庫県南部地震は、大惨事をもたらしました。連日、新聞やテレビ等で被災地の状況や各地からの救援活動等の報道がされていますが、市ではどのような支援活動をされているのでしょうか。
（高浜台　藤田由美子さん）

お答え　市の救出救援活動としては、消防士十人、建築物危険度判定士として市職員六人を被災地に派遣したほか、市内小学校への転入学（六人）、市営住宅への入居受け入れ（一戸）等があります。
また、被災地では自転車が市民の足として最も役立っていることから、引き取り期限の切れた放置自転車等三十一台を、自転車商組合で無料整備していただき、青年会議所により現地に搬送してもらいました。
義援金については、第一回目として百三十万円余り（市、市議、社会福祉協議会等）を送りました。
また、第二回目として千三百万円（個人、各種団体等五百九十万円余り、市、青年会議所による街頭募金三百十万円余り、小中学校の児童・生徒、PTA等二百九十万円余り、公民館等公共施設の募金箱百九十万円余り）を送りました。
その他多くの市民の方からの義援金等が各種機関を通じて送られています。今後もみなさんの温かいご支援をお願いします。
（企画調整課）
※市へのご意見、ご要望はお気軽に広報広聴課広聴担当（内線三五五）にお寄せください。

石碑を訪ねて

平塚の歴史を読む

河身改修耕地整理竣工記念の碑

県道平塚・秦野線から真田に向かう交差点際の碑

明治四十三年の八月は、一日から十四日にかけて二つの台風が当地を襲います。この十四日間の総雨量は箱根で千五百ミリに達し、平野部でも五～六百ミリとなる激しいものでした。このため中郡下では、死者三人、家屋の床上・床下浸水千八百二十七棟、堤防の決壊・破損百四十四か所、田畑の流失・浸水二百六十七町歩余りという大きな被害を受けています。この時、相模川と金目川の堤防も決壊し両川を隔てる平野部は、そのほとんどが浸水し田畑の一部流失、土砂による埋没は、金目地区を中心に広がったといいます。
金目川は、有史以来、度重なる洪水の被害にみまわれています。特に御所様（徳川家康）堤といわれる現在の金目第二歩道橋のある五百メートルほどの堤防は、金目川一の要所で、この堤防が切れた場合は、その水が小鍋島・打間木付近まで達し、その間の田畑は一面土砂で埋まる状態になりました。明治四十三年の洪水もまさにそうした状況を金目地区の田畑にもたらしたのです。
この洪水の復旧を契機に、金目地区は田畑整理の一大事業に着手します。これが金目村耕地整理事業です。従来の金目耕地は、特に田畑へ水を引くことを優先していたため田の形状はふぞろいで、用水体系もその田の形状に合わせたものであり、そのことが金目川の堤防改修のネックになっていたのです。六年の歳月を費やしたこの事業は、大正七年に完成します。
ところで、同時期の耕地整理事業に大正十二年の旭村耕地整理がありますが、これは関東大震災を契機に始められたものです。
このように見ると不幸な災害が百年の計を立てる絶好の機会であることも知らなくてはなりません。河身改修耕地整理竣工記念碑は、大正十年に事業の完成を記念して建てられました。
（博物館主任学芸員土井浩）